

ILC（国際リニアコライダー）に関する最近の状況

1 ILC に関する国内外の動き

◆2/14 有識者会議「国際リニアコライダー計画(ILC)の諸課題に関する議論のまとめ」(概要)

2021年6月のIDT（ILC国際推進チーム）による「準備研究所提案書」等の公表を受け、同年7月に文部科学省が第2期有識者会議を再開。翌年1月まで6回にわたる議論を経て、以下の内容を取りまとめた。

- 現時点では、提案された規模での **ILC 準備研究所段階への移行は時期尚早**。
- 関係国の厳しい財政事情等も踏まえると、**ILC 計画は再検討する時期**。
- 再検討の間、ILC 計画は**準備研究所にこだわらず、立地問題を一旦切り離し、段階的に研究開発を展開すべき**。

◆2/25 K E K「有識者会議の結論を受けた ILC の進め方について」(概要)

- ICFA での意見交換等を通して、ヒッグス・ファクトリー実現に向けての世界的な研究戦略再構築に関する検討を進める。
- IDT（ILC国際推進チーム）と協力し、**ILC 準備研究所に代わって当面必要な加速器の開発研究を行う枠組みにより共同研究を行うことを ICFA に提案する**。
- 共同研究を通して ILC を含めた次世代加速器の進展のために重要な技術開発等を図る。

◆4/10 ICFA「ヒッグス・ファクトリーの進展と ILC について」(概要)

- **IDT の枠組みにより、日本で ILC を更に進展させ実現させることを目指したグローバルな研究者コミュニティの活動の調整に引き続き取り組む**。
- **リソースの利用可能性と国際的な議論の進展を評価するため、今後一年間の進展を注意深く見守る**。

2 令和4年度の県取組

県は、日本政府による前向きな関心表明が行われ、国際協議が開始されるよう、また、国際協力による次世代加速器の研究開発費等の措置が行われるよう、ILC 実現に向けた取組を推進するとともに、建設候補地として受入に必要な環境整備を着実に推進する。

(1) ILC 実現に向けた取組

ILC 計画の実現に向けた国等への要望や ILC 計画の進捗を踏まえた建設候補地としての研究者の取組支援、国民・県民理解の増進に向けた取組を実施。

(2) ILC プロジェクトの推進（建設候補地としての受入環境整備）

ア 国際研究拠点の形成支援

県内港湾を活用した機材搬送に係る広域的な計画の具体化、ILC を契機とした居住や交通、エネルギー等に関する地域の将来まちづくり等。

イ イノベーションの創出

県内企業の参入促進に向けた関連企業の技術力向上及び人材育成、ILC に関連する技術・研究成果の産業化の支援等。

ウ ILC によるエコ社会の実現

ILC 関連施設への県産木材の活用検討、排熱利用などのグリーン ILC の展開と県民理解の促進等。

エ 外国人研究者等の受け入れ環境整備

外国人研究者等の生活環境整備や外国人子弟の教育受入に向けた調査検討等。

オ 交流人口の拡大、科学技術教育水準の向上

海外に向けた情報発信強化、機運醸成・理解促進、高校生を対象とした人材育成等。

3 参考

○ ILC ガイドラインシリーズ7「日本誘致が生み出す『価値』と『未来』」

本年4月、岩手県国際リニアコライダー推進協議会は ILC ガイドラインの最新シリーズを発行しました。

ILC ガイドラインシリーズは、岩手県国際リニアコライダー推進協議会のホームページからご覧いただくことができます。

【URL】<https://www.iwate-ilc.jp/archives/2681>



ガイドラインシリーズ7

